丈夫な机、テーブルに身をかくそう

グラッときたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身をかくし、落ち着いて次の行動を考えましょう。

あわてて戸外にとび出すな

あわてて戸外にとび出すと、窓ガラス・タイルなどの落下物が多いので、とても危険です。

せまい路地・へいの近くをさけよう

広い道・広い庭などにひなんしましょう。
ブロックべいなどがたおれてくるので注意しましょう。

大地震の心得

**いざ大地震発生！というときに適切な行動がとれるように、
ふだんから心がけていることが大切です。
地震の被害を防いだり、軽くしたりするために、
ぜひ実行してほしいことを標語にしました。**

人命救助にも消火が第一

大地震では、まず第一に火を出さないようにしましょう。
出火した場合は、まわりの人と協力してすぐに消火することが、多くの人命を救うために大切です。

ゆれがおさまったら火のしまつ

ゆれているあいだは、熱湯や油でやけどをすることがあります。無理をせず、ゆれがおさまってから、あわてずに火のしまつをしましょう。
※火が天井に届いたら、ひなんが優先です

落ちついて行動をはじめよう

ゆれがおさまったら、落ち着いて、適切な行動をはじめるようにしましょう。
ただし、大きな地震では、余震がいくつも続いて発生することがあるので注意しましょう。

確実な情報を得よう

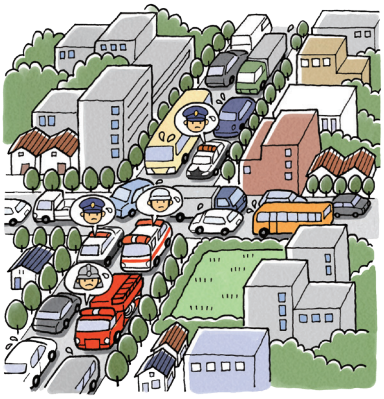
大地震のあとはデマがとぶことがあります。
ラジオやテレビなど、発信元の確かな情報を得るようにしましょう。

海岸や川の近くでは津波に注意
すぐ高台へひなんしよう

津波は、地震直後にやってくることもあります。
海岸付近や川沿いでゆれを感じたら、すぐに高台へひなんしましょう。強いゆれがなくても津波がくることがありますので、注意しましょう。

山地では山くずれ
傾斜地ではがけくずれ

大地震では山くずれや、がけくずれが発生します。
谷に住む人はふだんから注意し、いざというときはすぐにひなんしましょう。



われがちの行動は混乱のもと

移動やひなんに自動車を使うと、交通の混乱をまねき、緊急車両の通行のさまたげになります。
順番や、きまりを守り、協力しあうことが大切です。

生きる、を支える科学技術

防災科研
NIED